

地域連携について

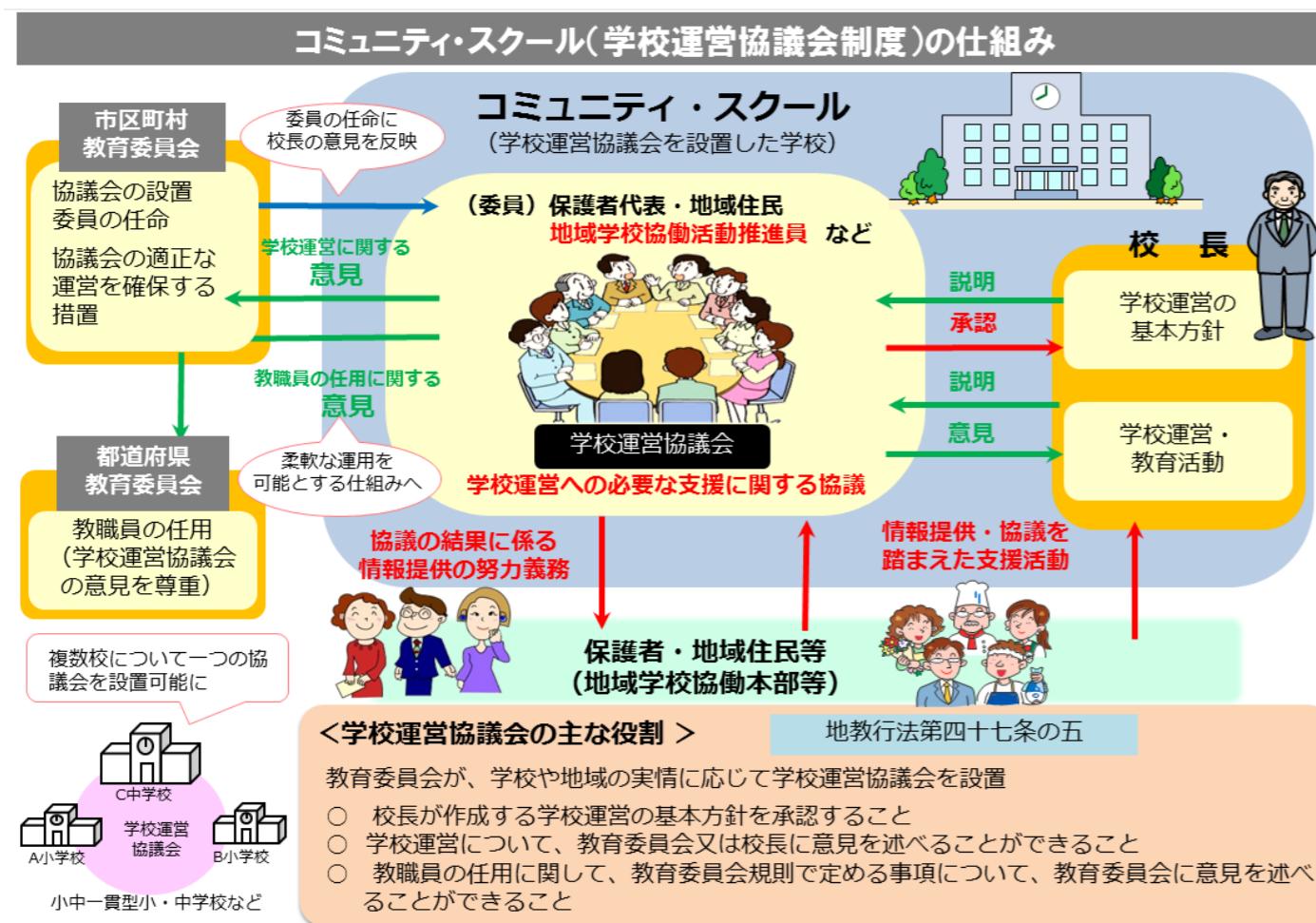
1. コミュニティ・スクールの充実
2. 部活動の地域展開

① 現状と課題

項目	現状と課題
学校運営協議会の設置	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に菁莪小・中学校区、令和2年度に南小・中学校区に設置されたのち、令和4年度より市内の全校に設置された。 コミュニティ・スクールは学校単独での設置と、中学校区単位での設置があり、小学校1校・中学校1校の場合には合同設置となっている。
学校運営協議会の活動	<ul style="list-style-type: none"> 「防災・交通安全」の活動として、小中合同避難訓練、登下校時の見守り、学校内の環境整備などを行っている。 「学校生活」の活動として、職場体験、ボランティア活動、校則の見直しなどを行っている。 「家庭・地域との連携」の活動として、幼保小中の連携、子どもの安心・安全な居場所づくりなどを行っている。

② 今後の方向性（案）

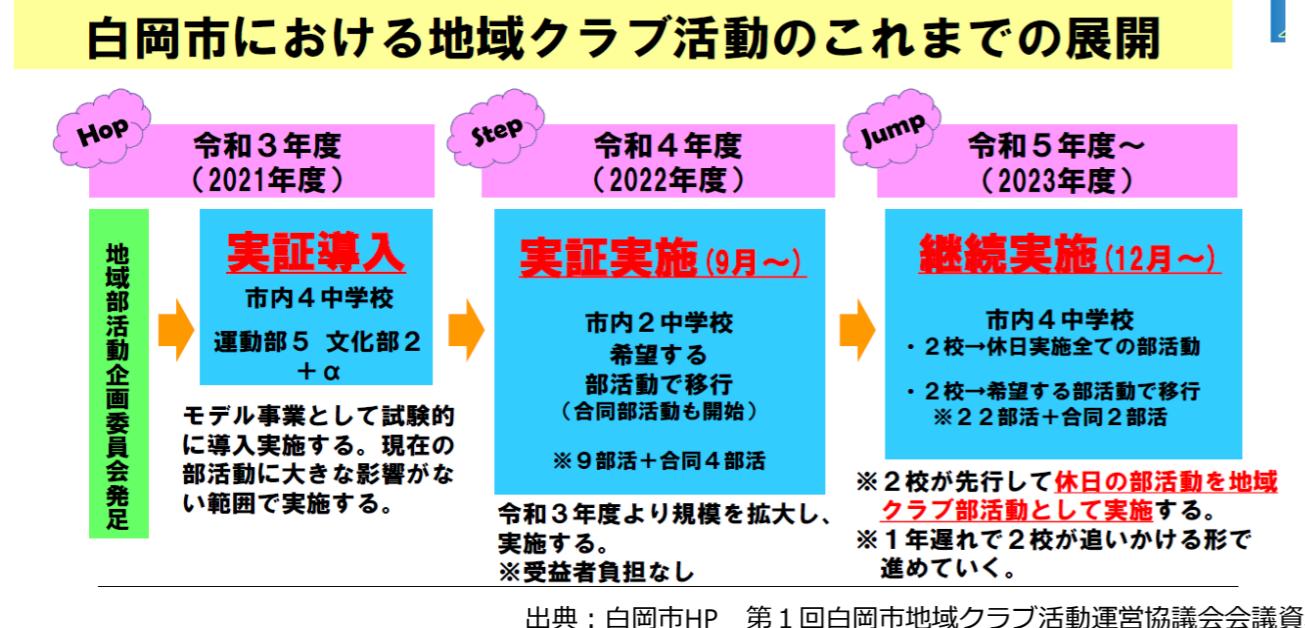
- ✓ 家庭、学校、地域、行政がさらに連携し、地域全体が一体となって子どもを育てる「開かれた学校」の実現を目指す。



出典：文部科学省（ウェブサイト）「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」

① 白岡市におけるこれまでの状況

- 当市においては、令和3年度より市内の各中学校で実証導入が行われ、実証結果をもとに令和5年度より市内各校で継続的な実施、令和6年11月以降はすべての部活動において、休日行うすべての活動を地域移行している。



② 課題と成果

課題と成果	
委託先団体（受け皿）について	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の委託先団体は、民間企業となり、<u>管理・運営面で安定していた</u>。スペシャルな指導者を派遣してもらえた半面、指導者の継続性の部分及び地域で活動する団体等との連携で課題が見えた。 令和5年11月より、現在の委託先団体「白岡 Sport Verein」に委託。
指導者について	<ul style="list-style-type: none"> 現在の指導者数41名（市内在住の指導者14名、兼職兼業教職員22名、運営団体等5名） <u>小・中学校の教職員による兼職兼業を認めている。</u> 指導者の評価システムや研修制度をどのように構築するべきかが課題。 ※指導者資格と指導者研修制度の必要性
活動時間及び活動日数について	<ul style="list-style-type: none"> 地域クラブ活動が休日（土・日・祝日）行われることで、教職員の負担が軽減され、平日の教科指導も充実している。活動時間は1日3時間以内。 活動回数は、令和7年1月から年48回以内（月4回程度）とし、休日に行う練習試合や大会も地域クラブ活動で参加する。
施設及び用具の管理について	<ul style="list-style-type: none"> 地域クラブ活動は学校管理下外となるが、学校施設の優先的な活用について、関係課と調整の上、施設の利用や施錠管理をしており、現時点で特に大きな問題は起きていない。
大会・コンクールの在り方について	<ul style="list-style-type: none"> 日本中体連は、令和5年度から大会への参加を承認（R4.12）。 部活動は平日の活動のみ、休日に行う練習試合や大会への参加については地域クラブ活動で参加する。
受益者負担額と保険料について	<ul style="list-style-type: none"> 月額2,500円（活動は、月4回程度）受益者負担額は一律。 最終的には公費や補助金に頼らない地域クラブ活動が望ましい

出典：白岡市HP 第1回白岡市地域クラブ活動運営協議会会議資料

③ 今後の取り組み予定

1) 合同部活動の新規設置

- 市では現在、プログラミング及びダンスの部活動を複数の学校で行う「合同部活動」としている。
- 令和7年度以降は、合同クラブや拠点校方式（市内で1校でしか行っていない部活動に、他校から参加する）のクラブを設置する。
- その他の種目についても、合同クラブのあり方を検討していく。

2) 今後の予定（方向性）

✓ 平日を含めた部活動の地域展開について、持続可能な運営のあり方などの検討を進めていく。